



ENJOY ALPINE CLIMBING

中級だより

これからアルパインクライミングを目指す人のための学校
※無雪期 「中級登山学校」

岩登りの技術を中心に、ロープワーク、レスキュー技術、自然条件に対する判断能力、
体力強化、山の生活技術など、総合的に学ぶ様子をスタッフよりお伝えします。

Vol.6

今年の中級カリキュラムも、残すところ修了山行のみとなりました。より一層の安全管理意識を各自が深め、
自立したアルパインクライマーとしての一步を踏み出せるよう、万全の準備を整えて臨んでまいります。

実技 12: 御在所岳遠征

地震や台風の影響により中止が続いた後の待望の実技。今回の遠征前も、台風通過直後の不安定な天候から開催が危ぶまれましたが、結果的には奇跡的に大変天候にも恵まれた遠征となりました。

【8/24(金)アプローチ】

前日の台風の影響で鈴鹿スカイラインのゲートは閉鎖され、藤内小屋までの登山道の橋は流されていました。重い荷物を背負って深夜のスカイラインを歩き、渡渉では靴を脱いで沢を渡り、藤内小屋を目指しました。

【8/25(土)曇りのち晴れ】

わずかな仮眠ののち早朝より各パーティが次々に藤内小屋を後にしていきました。前日までの悪天候により、中尾根を予定していたパーティも取り付きに到着すると岩から水がしたたるコンディションに登攀ルートの変更を余儀なくされました。思いのほか天候は持ち直し、雨に打たれることなく初日の登攀を終えることができました。

【8/26(日)晴れ時々曇り】

2 日目は下山日でもあり、時間との戦いの中での登攀になりましたが、昨日取りつかなかった中尾根にも 2 パーティが登攀、前尾根でも登攀後に山頂経由で下山するパーティなど、各パーティがそれぞれに満足のいく山行を終えることができました。気温も高く、暑さや疲労との戦いでもありましたが、受講生の皆さんの表情は充実感に満ちあふれていました。重い荷物を背負った夜間のアプローチ、わずかな仮眠後の行動開始、マルチピッチルートの登攀、御在所遠征は、総合的なアルパインクライミングを実践する機会となりました。



藤内小屋で

座学 10: アルパインクライミングの心得

ラストとなった中級座学は、新しい労山事務所に会場を移し、これはな山の会の川田講師を迎えて開催されました。講義は、受講生とスタッフからの質問へ川田講師に答えていただく質疑応答形式から始まり、その後は川田講師の貴重な経験談に一同聴き入りました。なかでも、川田講師が遭遇した岩場での悲惨な事故の状況には、会場は静まりかえりました。本チャンの岩場ではどんな状況に遭遇するか分かりません。そのために必要な知識や技術を身につけて登攀に臨むこと、それがアルパインクライミングの心得と、改めて身の引き締まる思いがしました。